

2017年3月期 第1四半期 決算ハイライト



 **リそなホールディングス**
RESONA

2016年8月10日

2017年3月期 第1四半期決算の概要

■ 親会社株主に帰属する四半期純利益(HD連結): 477億円 前同比△59億円(△11.0%)、通期業績目標比進捗率29.8%

【主な変動要因(前同比・銀行合算)】

- 実質業務純益の減益 : △78億円
- 株式等関係損益(先物込)の減益: △30億円
⇒純投資(ETF)損益 △2億円、前同比△38億円
- 与信費用改善 : +52億円
⇒新規発生は引き続き低水準、健全なポートフォリオが継続

■ 実質業務純益(銀行合算): 536億円 前同比△78億円(△12.6%)、通期業績目標比進捗率23.7%

- 業務粗利益 : 1,354億円、前同比△74億円(△5.2%)
⇒預貸金利益および役務取引等利益の減益を、
債券関係損益の積み上げにより一部補完
 - 国内預貸金利益 : 前同比△55億円(△6.5%)
 - 貸出金(平残) : 前同比約3,000億円増加(+1.1%)
 - 預貸金利回り差 : 1.16%、前同比△0.10%
 - 役務取引等利益 : 前同比△15億円(△5.4%)
 - 債券関係損益(先物込): 前同比+18億円(+24.0%)
- 経費 : △818億円 前同比△3億円
⇒ローコストオペレーションの徹底により前年水準を維持

(億円)

	(億円)	2017/3期 1Q			2017/3期 目標
		前年同期比増減 増減率	通期 目標比 進捗率		
HD連結					
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (1)	477	△59	△11.0%	29.8%	1,600
連単差((1)-(20)) (2)	57	+1			
1株当たり四半期純利益 (EPS、円) (3)	20.60	△2.56			
1株当たり純資産 (BPS、円) (4)	710.41	+4.28			
銀行合算					
業務粗利益 (5)	1,354	△74	△5.2%	24.3%	5,570
資金利益 (6)	912	△79			
うち国内預貸金利益*1 (7)	780	△55			
信託報酬 (8)	46	△10			
役務取引等利益 (9)	260	△15			
その他業務粗利益 (10)	135	+30			
うち債券関係損益(先物込) (11)	95	+18			
経費 (12)	△818	△3	△0.3%	24.6%	△3,315
経費率 (13)	60.4%	+3.3%			
実質業務純益*2 (14)	536	△78	△12.6%	23.7%	2,255
株式等関係損益(先物込) (15)	15	△30			95
与信費用 (16)	69	+52			△210
その他の臨時・特別損益 (17)	△46	△29			
税引前四半期純利益 (18)	574	△85	△12.9%	28.0%	2,045
税金費用 (19)	△153	+25			
四半期純利益 (20)	420	△60	△12.5%	28.9%	1,450

*1. 国内預貸金利益: 銀行勘定(譲渡性預金を含む)

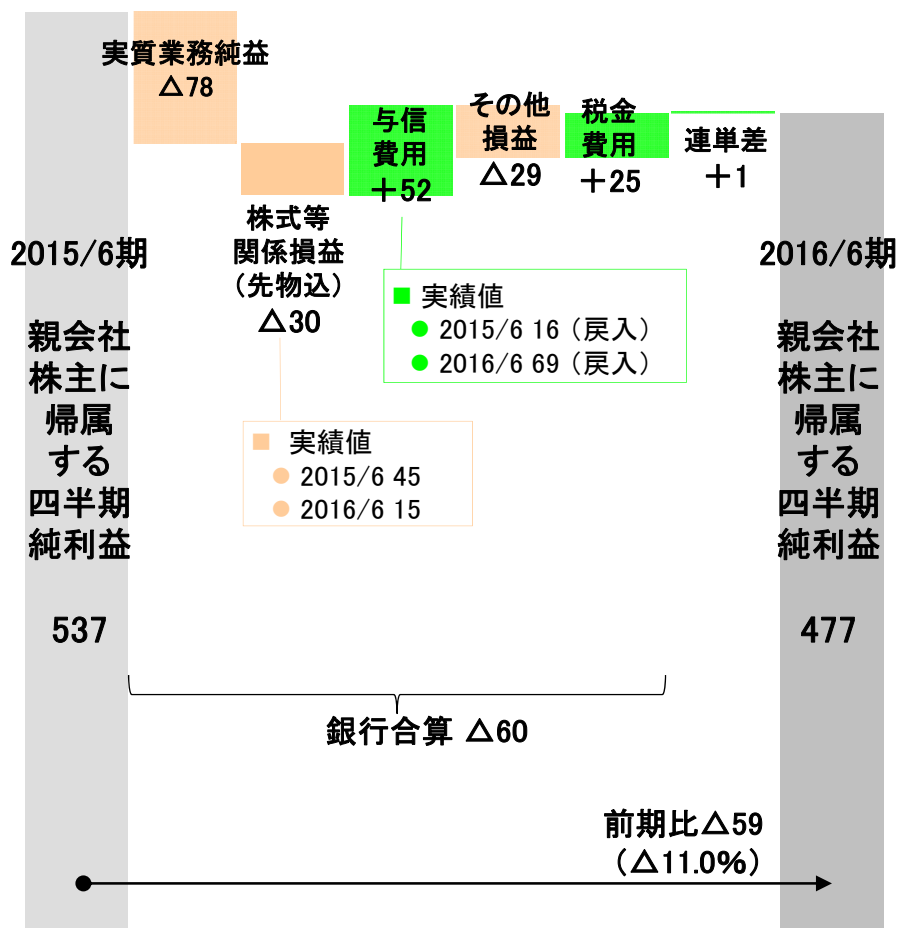
*2. 信託勘定不良債権処理額、一般貸倒引当金繰入額を除いた業務純益

*3. 利益にマイナスの場合は「△」を付して表示

期間損益の前同比増減要因

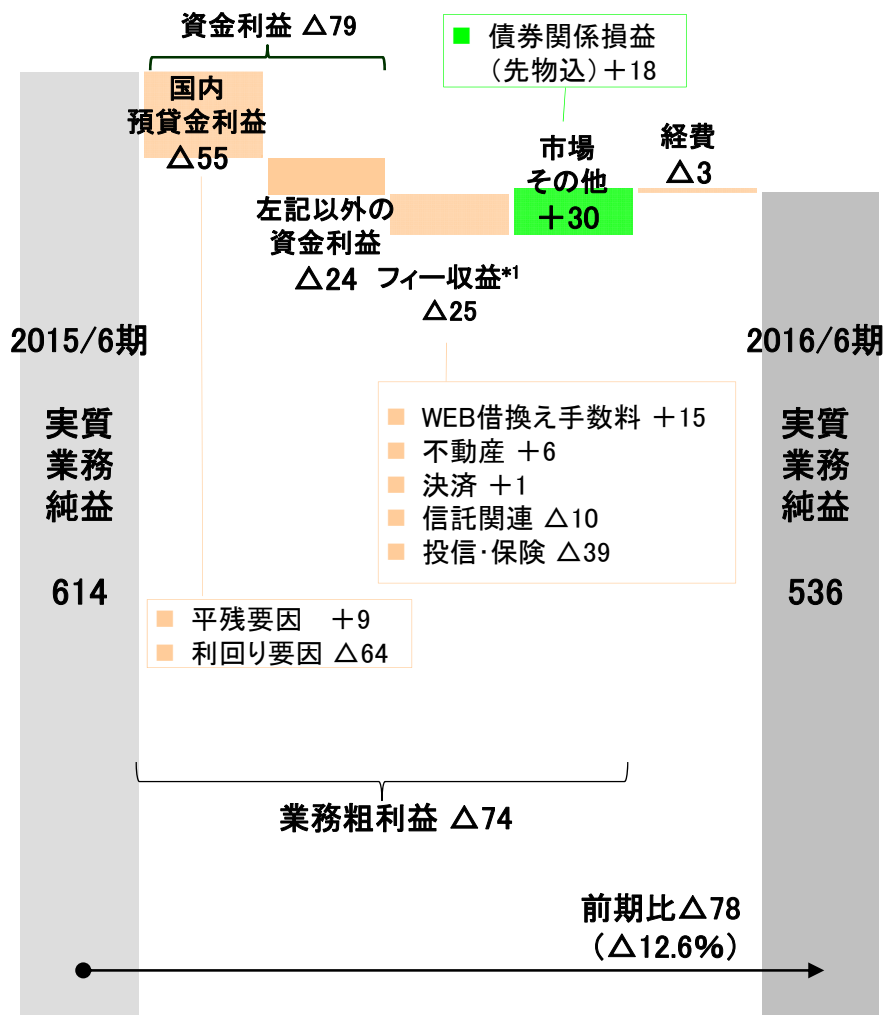
親会社株主に帰属する四半期純利益 (HD連結)

(億円)



実質業務純益 (銀行合算)

(億円)



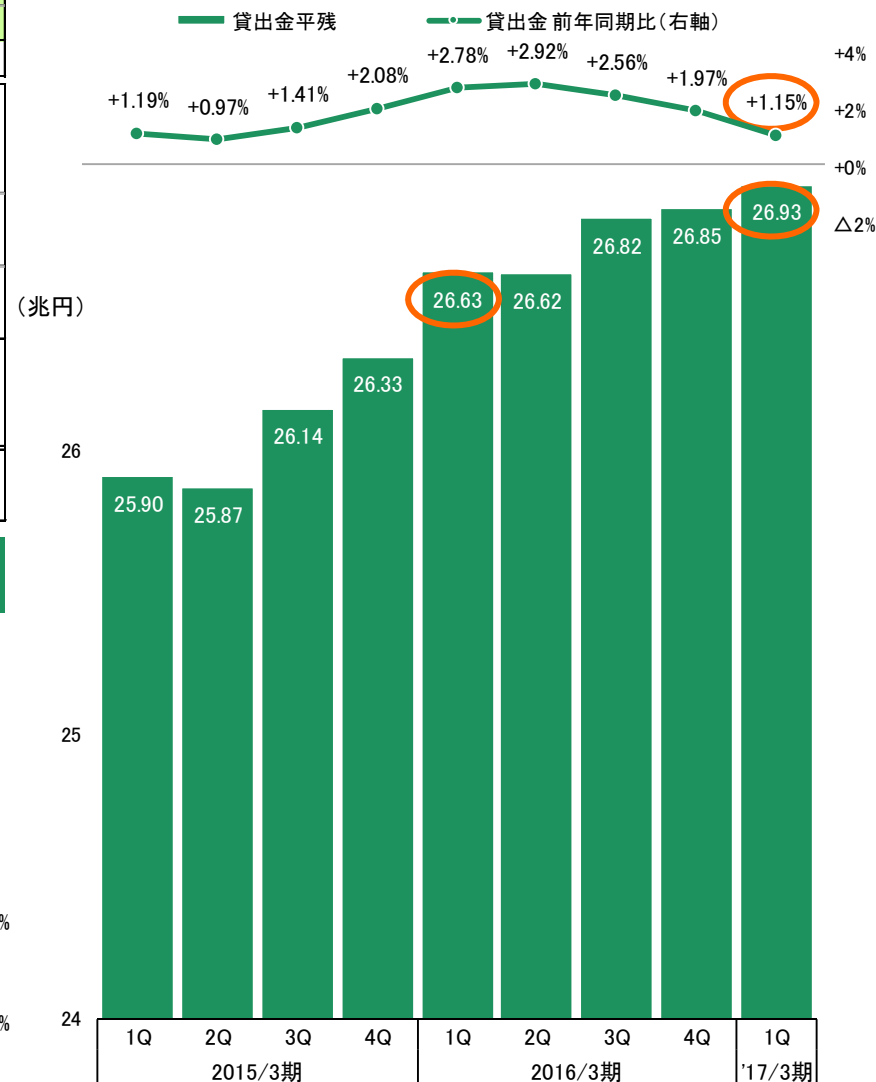
*1. 役員取引等利益 + 信託報酬

貸出金・預金の平残・利回りの状況(銀行合算)

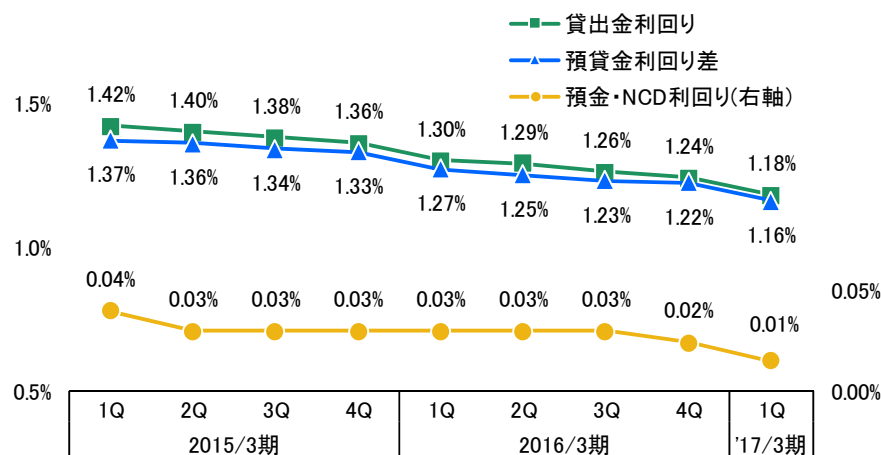
貸出金・預金の平残、利回り、利回り差

(平残:兆円、収益・費用:億円)		1Q		2017/3期		
		実績	増減	計画	増減	
貸出金平残(銀行勘定)		(1)	27.44	+1.10%		
国内	貸出金	平残 (2)	26.93	+1.15%	27.21	+1.81%
		利回り (3)	1.18%	△0.12%	1.18%	△0.09%
		収益 (4)	796	△73	3,221	△205
	コーポレート部門(公共除)*1	平残 (5)	15.63	+1.04%	15.87	+1.98%
		利回り (6)	1.03%	△0.15%	1.02%	△0.11%
	コンシューマー部門*2	平残 (7)	10.34	+1.35%	10.38	+1.62%
		利回り (8)	1.46%	△0.07%	1.46%	△0.06%
	預金+NCD	平残 (9)	39.05	+2.19%	37.84	△0.63%
		利回り (10)	0.01%	△0.01%	0.01%	△0.01%
		費用 (11)	△15	+18	△66	+52
	預貸金	利回り差 (12)	1.16%	△0.10%	1.16%	△0.08%
		利益 (13)	780	△55	3,155	△153

貸出金平残、前年同期比増減率(国内)



預貸金利回り・利回り差(国内)



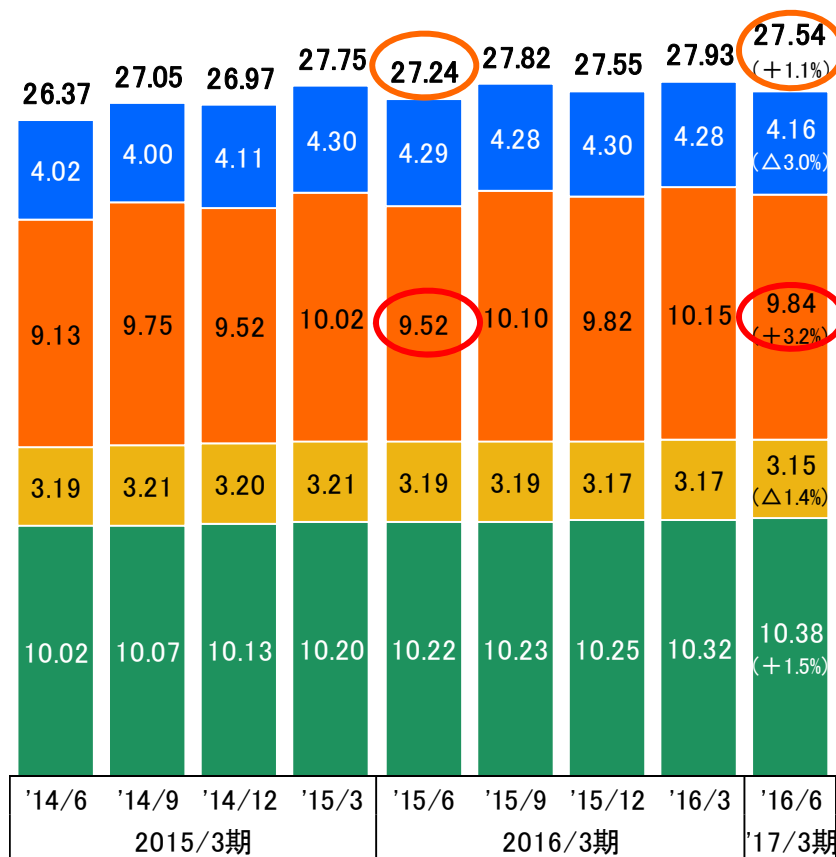
*1. 社内管理計数、コーポレート部門(公共除): 一般貸出 + アパートマンションローン
 *2. 社内管理計数、コンシューマー部門: 自己居住用住宅ローン + 消費性ローン

貸出金・預金末残の状況(銀行合算)

貸出金末残

兆円、()内は
前同比増減率

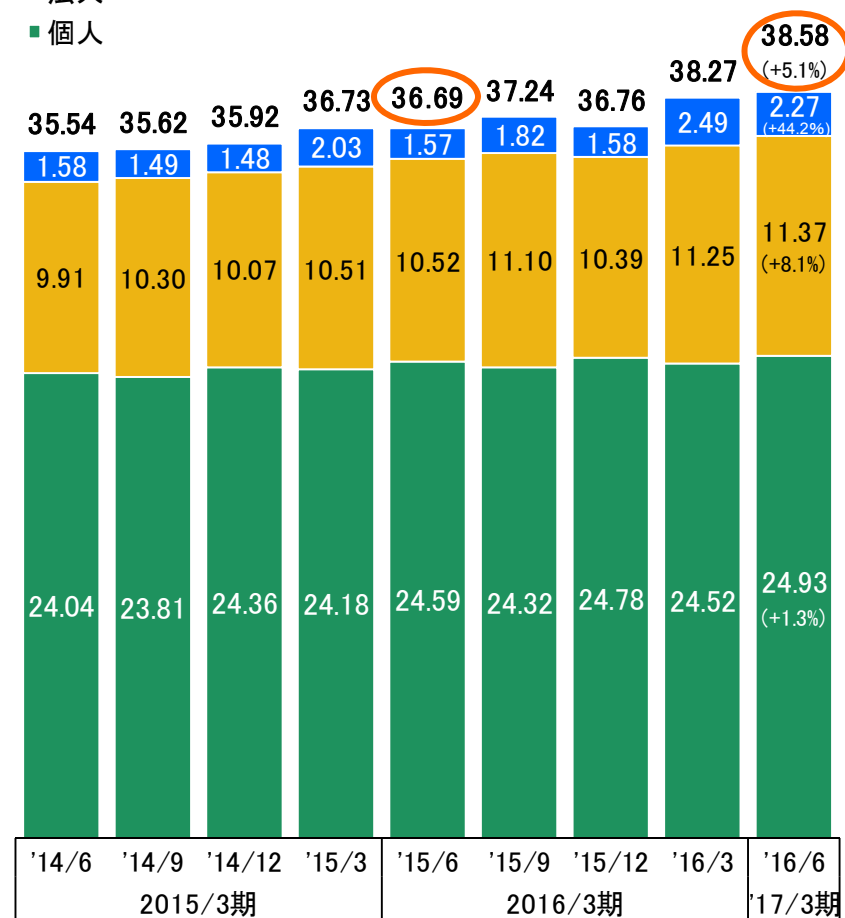
- コーポレート部門(その他)*1
- コーポレート部門(中小企業)
- コーポレート部門(アパートマンションローン)
- コンシューマー部門(自己居住用住宅ローン+消費性ローン)



預金末残

兆円、()内は
前同比増減率

- その他
- 法人
- 個人



*1. りそな銀行からりそなホールディングスへの貸出 (0.30兆円)を含む

住宅ローンの状況(銀行合算)

住宅ローン実行額

(兆円)

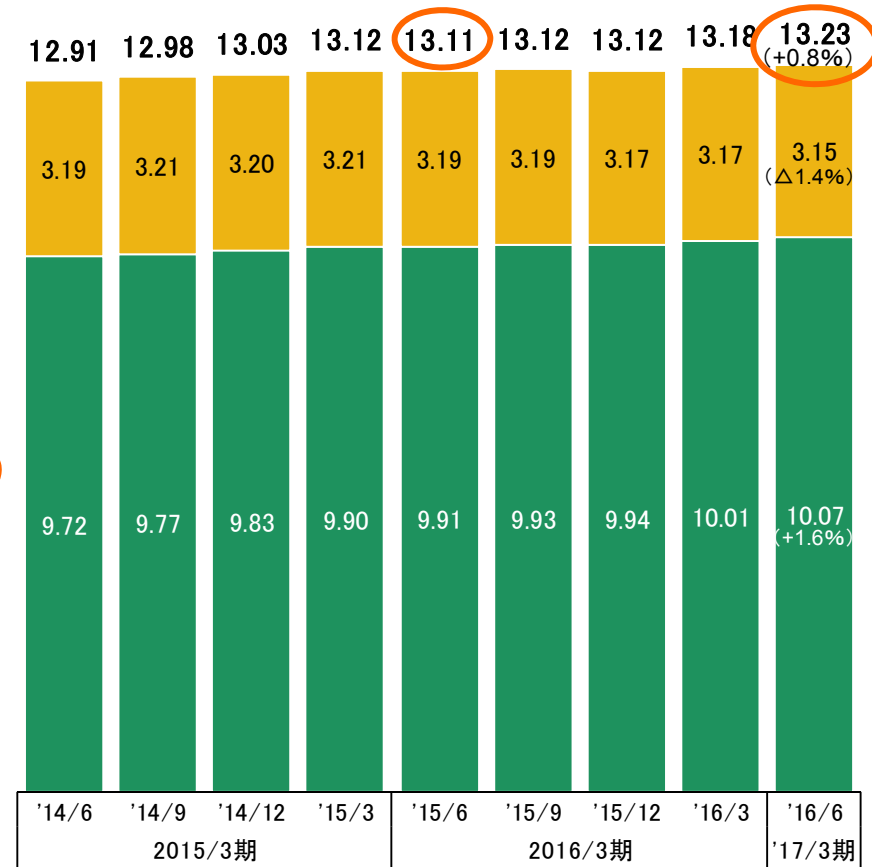
- アパートマンションローン
- フラット35
- 自己居住用住宅ローン



住宅ローン未残

兆円、()内は
前同増減率

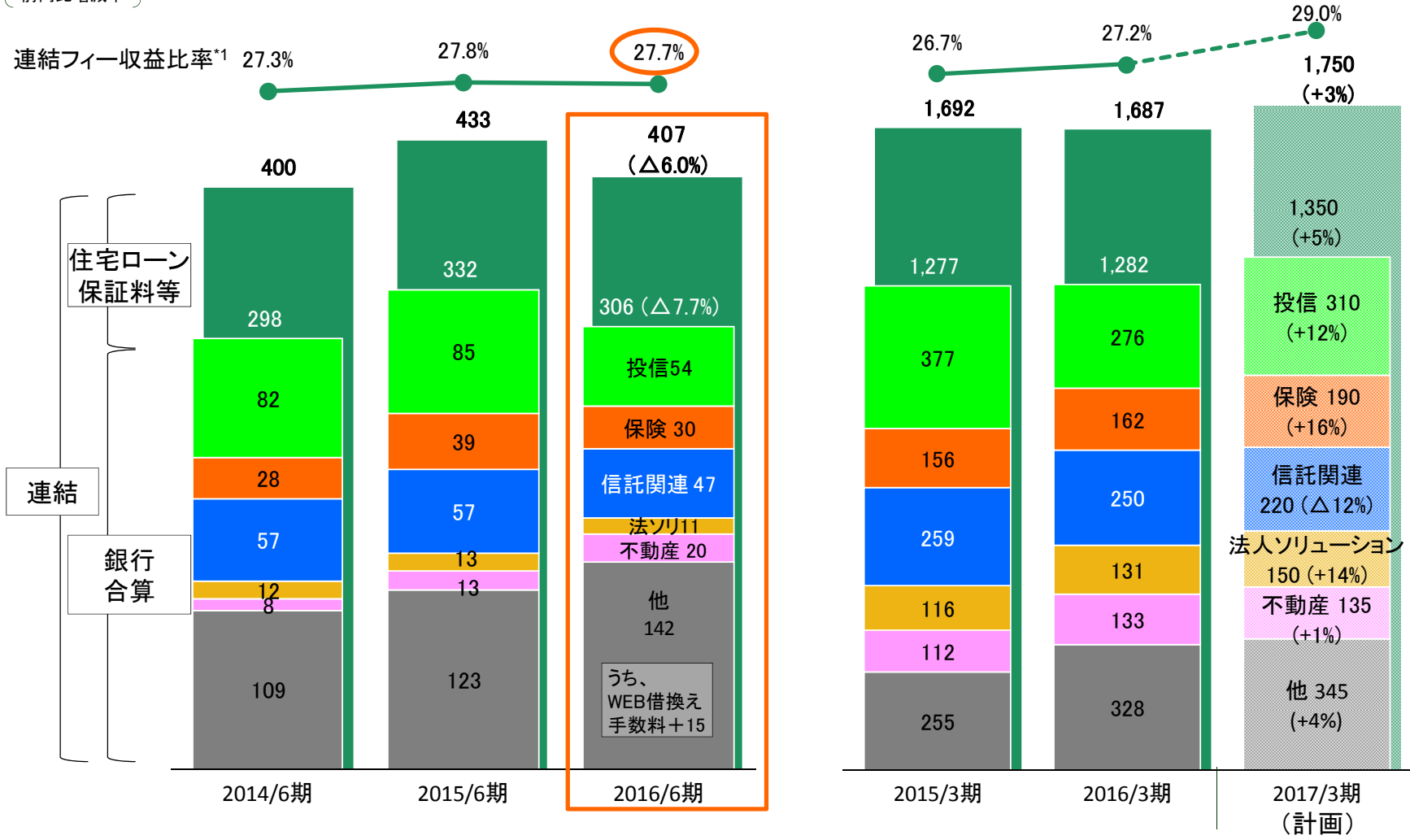
- アパートマンションローン
- 自己居住用住宅ローン



フィービジネスの状況

2017/3期第1四半期の連結フィー収益比率は27.7%

億円、()内は前同比増減率

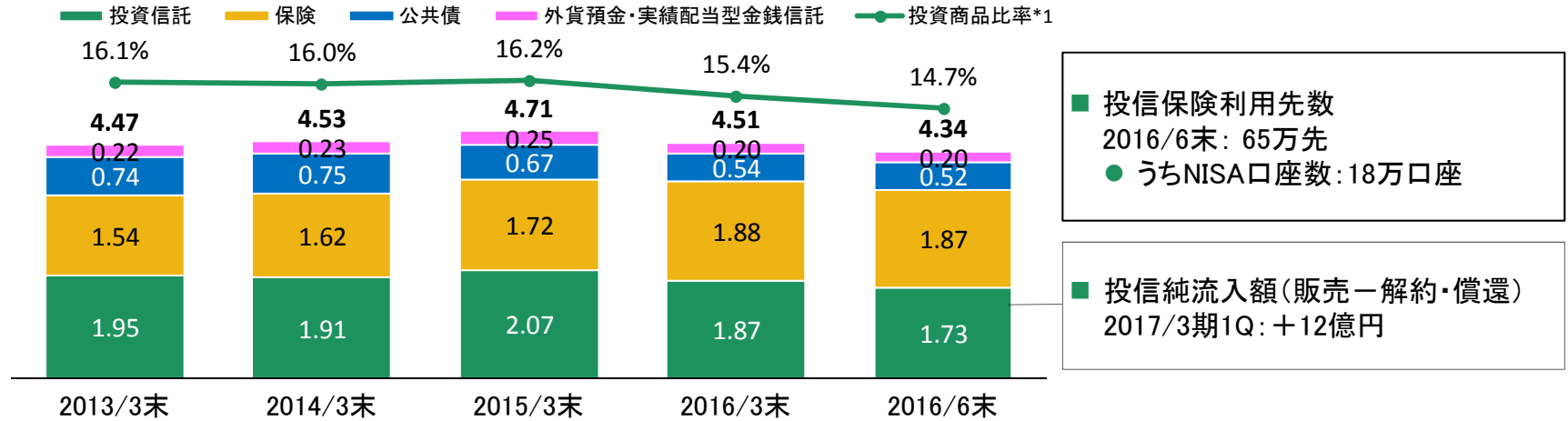


*1. (役員取引等利益+信託報酬) / 連結粗利益

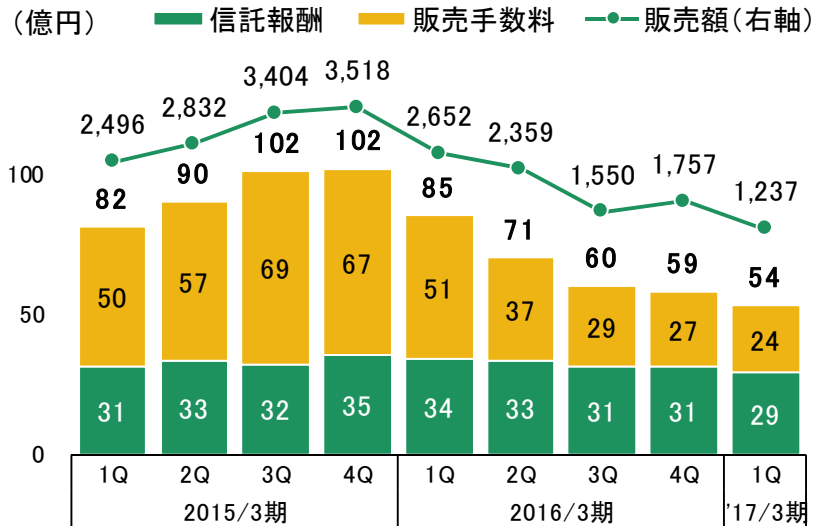
資産形成サポートビジネスの状況（銀行合算）

個人向け投資商品残高

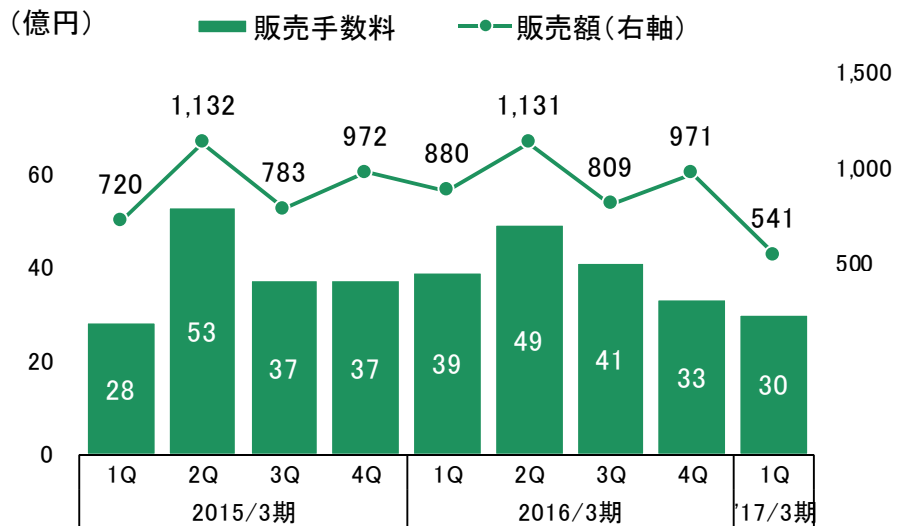
(兆円)



投資信託



保険



*1. 投資商品比率=個人向け投資商品残高/(個人向け投資商品残高+個人預金(円貨))
*2. 社内管理計数

与信費用、不良債権の状況

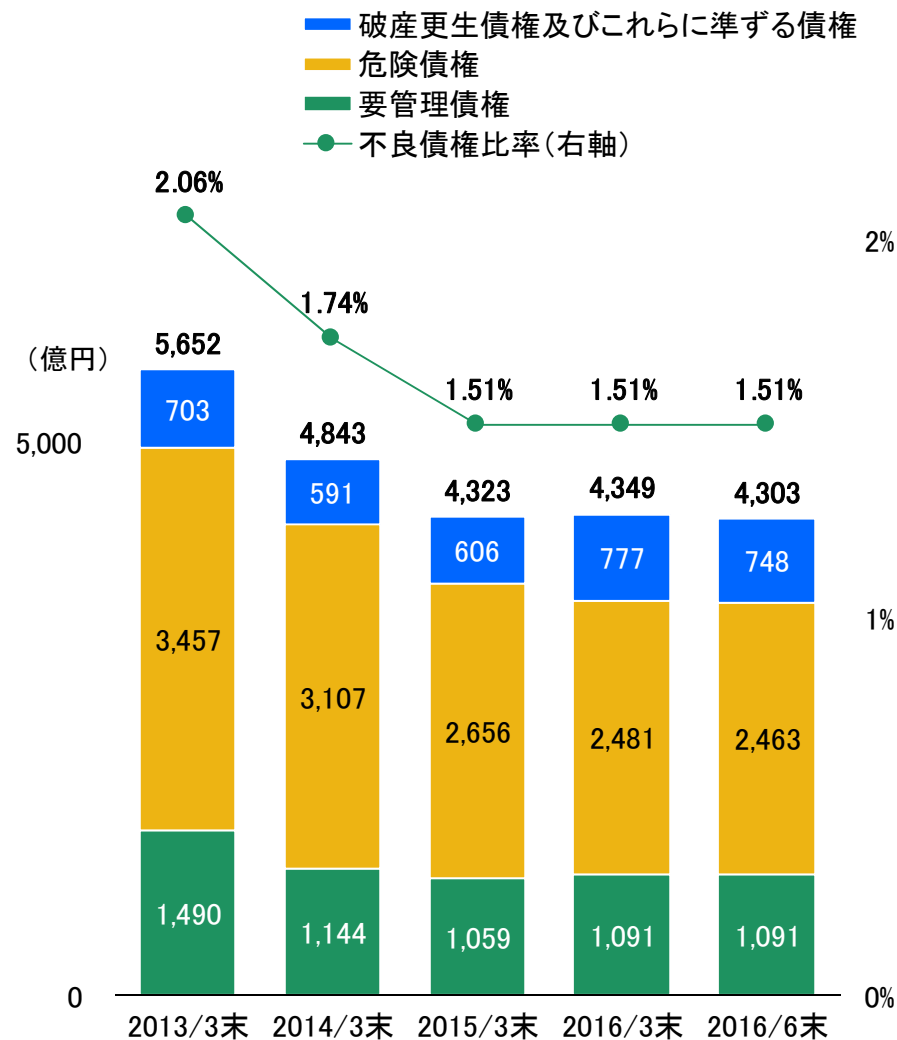
与信費用の状況

(億円)		2015/3期		2016/3期		2017/3期		
		実績		1Q実績	実績	1Q実績	計画	
銀行合算	(1)	243		16	△234	69	△210	
一般貸倒引当金	(2)	235		19	△0	40		
個別貸倒引当金等	(3)	7		△3	△234	28		
新規発生	(4)	△295		△69	△439	△40		
回収・上方遷移等	(5)	303		66	204	69		
連単差	(6)	△19		4	△23	8	△40	
うち、住宅ローン保証	(7)	11		16	26	11		
うち、りそなカード	(8)	△16		△5	△18	△5		
HD連結	(9)	223		21	△258	77	△250	
<与信費用比率>								(bps)
銀行合算*1	(10)	△8.6		△2.3	8.2	△9.7		
HD連結*2	(11)	△8.1		△3.1	9.2	△11.1		

*正の値は戻入を表す

不良債権残高・比率の推移(銀行合算)

(金融再生法基準)



*1. 銀行合算与信費用／金融再生法基準与信残高 (期首・期末平均) (四半期実績は年換算)
 *2. HD連結与信費用／(連結貸出金＋連結支払承諾見返未残) (期首・期末平均) (四半期実績は年換算)

有価証券の状況(銀行合算)

有価証券の状況

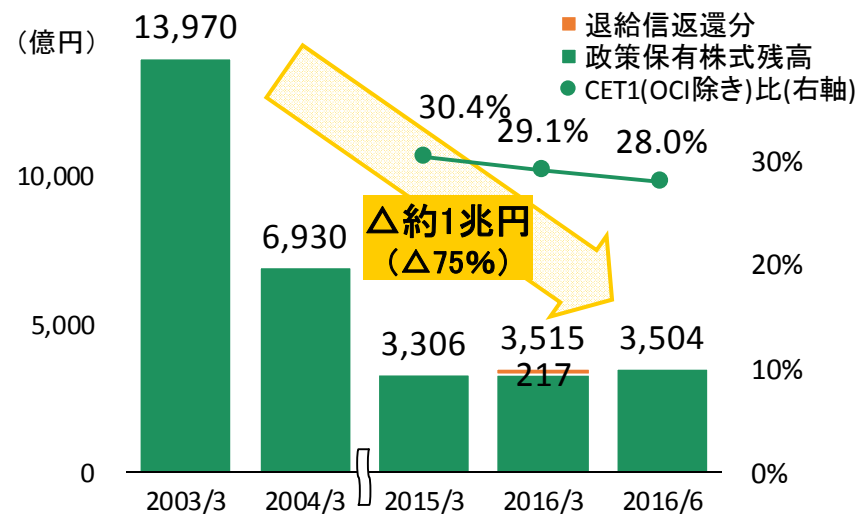
(億円)		2015/3末	2016/3末	2016/6末	評価差額
その他有価証券*1	(1)	38,276	24,597	23,495	4,249
株式	(2)	3,306	3,515	3,504	4,108
債券	(3)	31,869	16,819	15,203	144
国債	(4)	21,511	7,602	4,982	43
(デュレーション)*2	(5)	3.3年	3.1年	2.1年	-
(BPV)	(6)	△7.2	△2.4	△1.0	-
地方債・社債	(7)	10,358	9,216	10,220	101
その他	(8)	3,100	4,263	4,787	△4
外国証券	(9)	1,430	2,398	2,984	64
(評価差額)	(10)	5,731	4,601	4,249	
満期保有債券*3	(11)	24,357	23,835	23,223	1,010
国債	(12)	19,620	18,798	18,379	812
(評価差額)	(13)	726	936	1,010	

政策保有株式の状況

- 損益分岐点株価(日経平均ベース): 6,200円程度
- 2016/6期 売却額(上場分・取得原価): 11億円
売却益(同): 16億円

政策保有株式に関する方針の概要

- 公的資金による資本増強以降、残高圧縮に取り組み、価格変動リスクを低減
- 引き続き、保有の是非は中長期的な取引展望の実現可能性を含むリスク・リターンを検証により判断し、中期的にCET1*4比「10%台*1」に削減方針



*1. 取得原価、時価のある有価証券

*2. 変動利付国債のデュレーションはゼロで計算

*3. BS計上額、時価のある有価証券

*4. OCI除き

自己資本比率(HD連結)

- 2016/6末の自己資本比率(国内基準)は13.04%、普通株式等Tier1比率(国際統一基準※)は8.66%と十分な水準を維持
※その他有価証券評価差額金除き

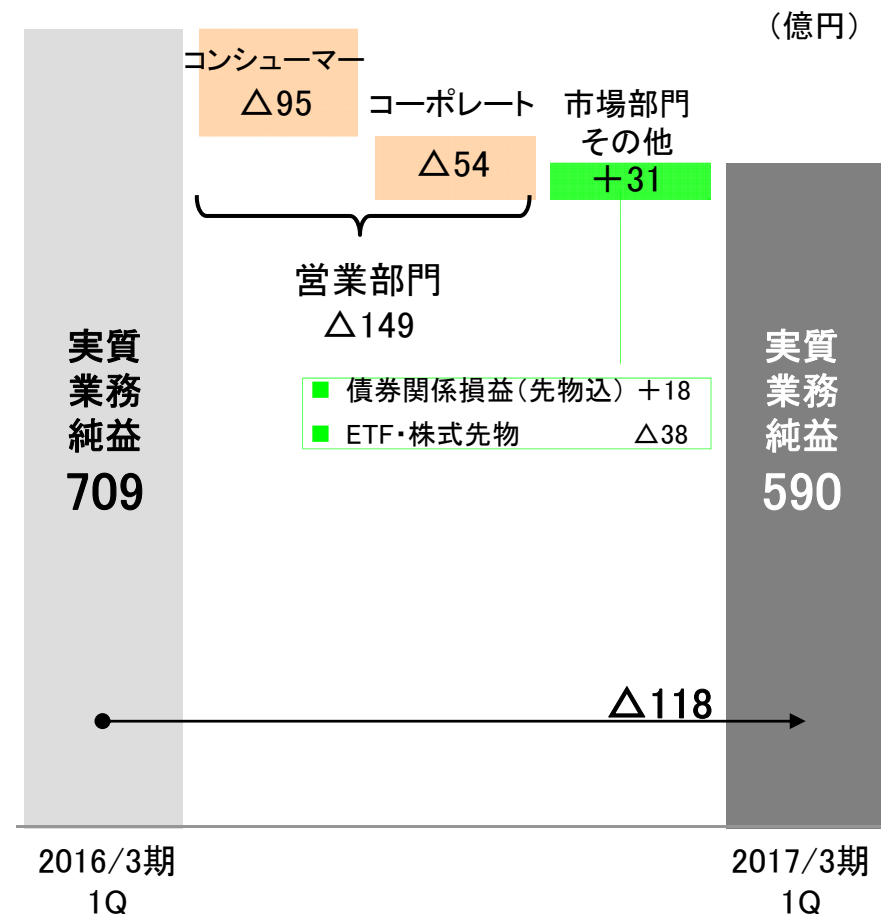
国内基準			
(億円)	2016/3末	2016/6末	増減
自己資本比率 (1)	13.53%	13.04%	△0.49%
自己資本の額 (2)	19,692	18,578	△1,113
コア資本に係る基礎項目の額 (3)	19,976	18,868	△1,107
資本金及び剰余金 (4)	12,516	12,994	+ 477
自己株式(△) (5)	19	16	△2
社債型優先株式(経過措置による算入) (6)	1,750	1,750	-
劣後債等(経過措置による算入) (7)	5,108	3,570	△1,538
適格引当金等算入額 (8)	541	472	△68
その他 (9)	79	98	+ 19
コア資本に係る調整項目の額 (10)	284	289	+ 5
リスク・アセット等 (11)	145,525	142,404	△3,121
信用リスク・アセットの額 (12)	129,549	126,811	△2,737
マーケット・リスク相当額÷8% (13)	1,553	914	△639
オペレーショナル・リスク相当額÷8% (14)	10,616	10,616	-
フロア調整額 (15)	3,806	4,062	+ 256

(参考)国際統一基準			
(億円)	2016/3末	2016/6末	増減
普通株式等Tier1比率 (16)	9.52%	9.98%	+0.46%
その他有価証券評価差額金除き (17)	8.13%	8.66%	+0.53%
Tier1比率 (18)	10.69%	11.17%	+0.48%
総自己資本比率 (19)	14.10%	14.54%	+0.44%
普通株式等Tier1資本の額 (20)	14,262	14,595	+ 333
基礎項目の額 (21)	14,776	15,156	+ 380
資本金及び剰余金 (22)	12,516	12,994	+ 477
その他の包括利益累計額 (23)	2,207	2,104	△102
うちその他有価証券評価差額金 (24)	2,084	1,926	△158
その他 (25)	53	58	+ 5
調整項目の額 (26)	514	561	+ 46
その他Tier1資本の額 (27)	1,745	1,745	+ 0
Tier1資本の額 (28)	16,007	16,341	+ 333
Tier2資本の額 (29)	5,111	4,923	△187
総自己資本の額(Tier1+Tier2) (30)	21,118	21,264	+ 146
リスク・アセット等 (31)	149,683	146,242	△3,440
信用リスク・アセットの額 (32)	135,239	132,372	△2,866
マーケット・リスク相当額÷8% (33)	1,553	914	△639
オペレーショナル・リスク相当額÷8% (34)	10,616	10,616	-
フロア調整額 (35)	2,273	2,339	+ 65

(ご参考)事業部門別の損益概要 (1)

実質業務純益は、営業部門の減益を主因に前同比118億円の減益

(億円)		2017/3期 1Q	前年同期比
営業部門	業務粗利益 (1)	1,161	△149
	経費 (2)	△793	△0
	実質業務純益 (3)	368	△149
コンシューマー 事業	業務粗利益 (4)	574	△91
	経費 (5)	△427	△3
	実質業務純益 (6)	146	△95
コーポレート 事業	業務粗利益 (7)	587	△57
	経費 (8)	△365	+2
	実質業務純益 (9)	221	△54
市場部門・ その他	業務粗利益 (10)	255	+34
	経費 (11)	△33	△3
	実質業務純益 (12)	221	+31
合計	業務粗利益 (13)	1,417	△115
	経費 (14)	△826	△3
	実質業務純益 (15)	590	△118



管理会計における 計数の定義

1. グループ3銀行及びローン保証子会社3社の計数を計上
2. 市場部門の業務粗利益には、株式等関係損益の一部を含む
3. 「その他」には、経営管理部門の計数等を含む

(ご参考)事業部門別の損益概要 (2)

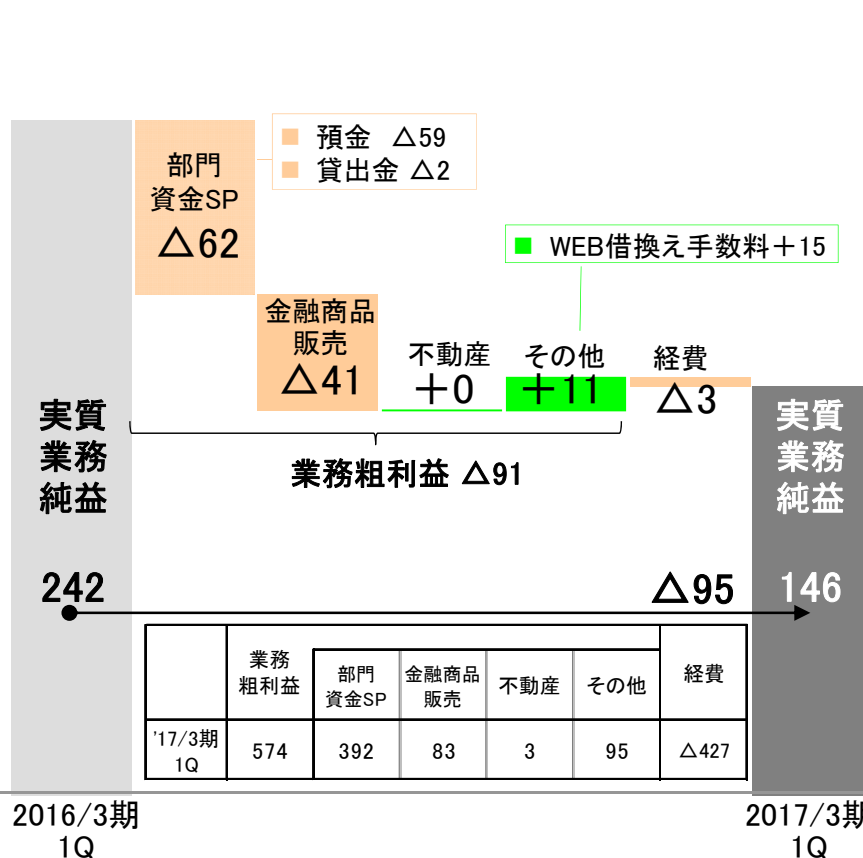
コンシューマー部門

- 実質業務純益は前同比95億円の減益
 - 部門資金SPは、金利低下影響により減少
 - 金融商品販売収益は、市況変動影響等により減少

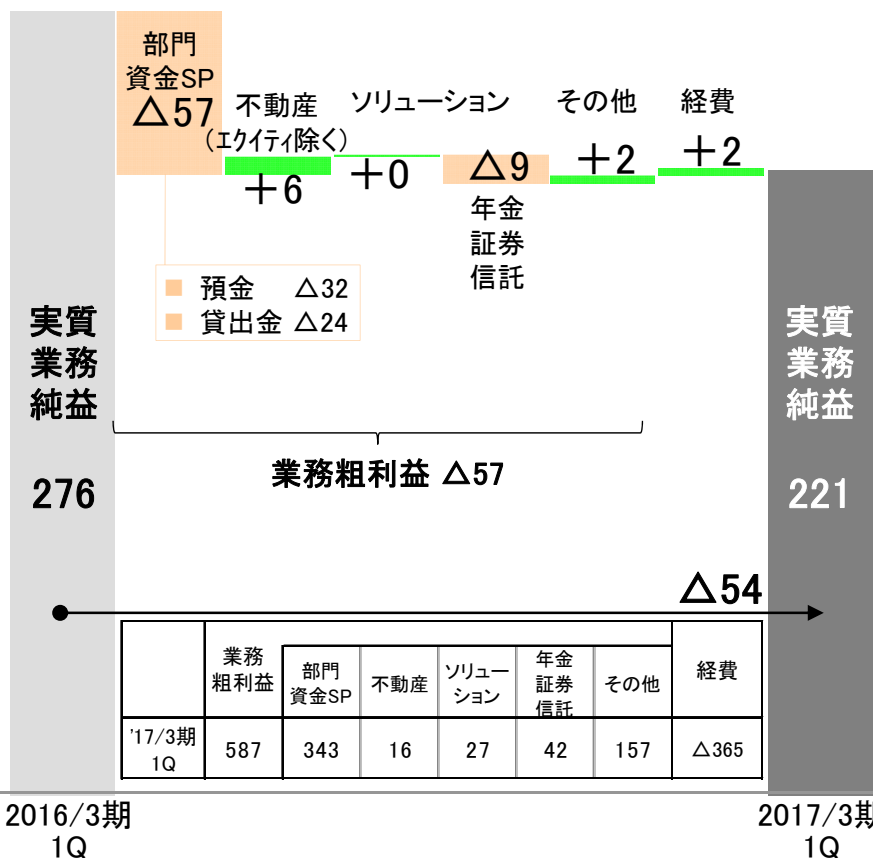
コーポレート部門

- 実質業務純益は前同比54億円の減益
 - 部門資金SPは、金利低下影響により減少

【変動要因】 (億円)



【変動要因】 (億円)



本資料中の、将来に関する記述（将来情報）は、次のような要因により重要な変動を受ける可能性があります。

具体的には、本邦における株価水準の変動、政府や中央銀行の方針、法令、実務慣行及び解釈に係る展開及び変更、新たな企業倒産の発生、日本および海外の経済環境の変動、並びにりそなグループのコントロールの及ばない要因などです。

本資料に記載された将来情報は、将来の業績その他の動向について保証するものではなく、また実際の結果と比べて違いが生じる可能性があることにご留意下さい。

想いをつなぐ、未来を形に。 *Next Action* RESONA GROUP

